

五要十不

中国西安市の某記念館に掲げてあった「五要十不」を紹介する。これは、五つのやるべき事と、十のしてはいけない事である。裏面の原文を見て下さい。

- * 一つ 文明語を使うべき
人に対しては、礼儀をつくす事。きたない言葉や乱暴な言葉を話すな。けんかをするな。
- * 二つ 服装を清潔にし、きちんと着る事
優雅に行動する事。裸になるな。公共の場所へは、スリッパで入らない事。
- * 三つ 公共の場所では、秩序を遵守する事
大きな声を出さない事、大人数で騒がない。交通規則の違反をしない事。
- * 四つ 街の中をきれいに保つ事
勝手に路上に痰を吐いたり、物を捨てない事。自転車を勝手に置き放しにするな。
路上での販売もするな。
- * 五つ 公共施設を大事にする事
公園の植物や古跡の物を損なわない事。むやみに物を貼ったり、落書きをしない事。
ベンチに土足であがらない事。

文明用語とは、「どうぞ、こんにちは、ありがとう、すみません、さようなら」である。

* 学習 :

- 1) 各人で、中国語原文を日本語に、日本文を中国語に「翻訳」する。
中国語と日本語の学習になる。

上記の日本語文は、斎藤の翻訳であり、正確な翻訳になっていないかも知れないので、自分で中国語を日本語に翻訳すること。

- 2) 「私の五要五不」を、日本語と中国語で作成する。

これを紙に書いて自分の机の前に掲示し、毎朝見て、日々の行動に活用。

課題 - 3 「私の五要五不」レポートのまとめ

- 「自分は如何にあるべきか？」を考える一つに、自己行動の内容がある。
毎日、自分がやるべき事は何か、やってはいけない事は何かを認識しなければならない。
- これらは、漠然と認識するのではなく、きちんとした文章で表し、これを常に目に入る場所に掲げ、これを見て日常の行動で示すことが大事である。
- この行動の継続的实施が、確実に自分を成長させることであると確信する。

* 課題 : テーマ - 「私の五要五不」

- 一 添付資料の「五要十不」の内容を参考にして、下記の内容を含んだ文を「論文形式」で書く。
 - * 「五要十不」の意味についての自分の考え。
 - * 自分で、今後「必要、やるべき項目」と「やるべきでない項目」を各五つずつ書く。
この五要五不の項目のみ、日本語と中国語の両方で書く。
 - * 「五要五不」は、本論の中に個条書きで書き、結論の中には、今後の課題も必ず書くこと（今後、この五要五不をどう実施して行くか？）。
- 一 課題の目的 :
 - * 自分で考え、自分で実行するための計画であり、PDCA の P である。
 - * 自己を認識し、自分がやるべき事、やるべきでない事を考えて、自己向上や自己改善のための「自己宣言書」の作成である。
 - * 簡単な標語を、自分でも作って、日々の自己行動に活用する。
 - * 日本語の学習、練習。

* 提出日 : 4月03日(火)

自己を認識し、自己向上や自己改善を考え、PDCA の確実な実行

自己の日々行動は、自己作成の「私の五要五不」の確実な実施である

1. 提出 : 19 / 41 (46 %) - あれほど言ったのに、未だかなり低い提出率。
* やる気のない学生は、仕方ない。 今学期の試験を含んだ評価点は？
2. レポートの紹介 : 中国語を省略し、日本語のみとする。
 - 1. 講義時間を守る。遅刻をしない、早退もない。
 - 2. クラスメイトに対して、礼儀を持つ。喧嘩をしない。
 - 3. かっこうをきれいにする。汚い服を着ません。

4. 水を節約する。水は無限ではない。
5. 交通規則を守る。信号を守ります。

- 1. 時間の観念を確立し、5分前に教室に着いて、時間通りに授業を受けて、遅刻と早退をしない。
- 2. 文明的な習慣を身につけて、身なりは整然として、振る舞いは文明的である。
- 3. 上品で教室の紀律を守って、精神が集中して、真剣に講義を聴いて、授業時間に眠らないで、音楽を聞かない。
- 4. 教室の労働を守って、教室が静かになることを維持して、ひそひそ話をしないで、迷惑にならない動作をする。
- 5. 教室のテーブルと椅子を注意して使い、ティーチングマシーンなどの公共物や教室の施設を、気の向くままに移動したり、足で踏まない。

- 五つのやるべき事と五のしてはいけない事 :

一つ、 まじめな学習。

残った2年の時間が終わらない内に、真剣に努力して学んで、特に日本語に対する学習。これを出来ないことは、放棄と同じです。

二つ、 毎日良好な心理状態を維持します。

青年として、元気はつらつにしているべきです。向上心を持たないことは良くない。

三つ、 両親のために困難を共にします。

親孝行をするのは中国人の美德で、自分力で出来ることを、両親にいくつかしてやって助けるべきです。ただ、自分のためだけを考えるべきではありません。

四つ、 他人と上手に付き合うことが出来ます。

私たちは既に大人になった。すぐ社会に向かわなければならなくなって、自分の持ち場に向かって事を熟し、子供っぽくなることは出来ません。

五つ、 真面目な生活。

これが大事で、これをやらないと、私の積極的な人生も実際は意味がなくなる。

- 「五要五不」は、人間の行動を制限することである。

一つ、 真剣に勉強する。大学を卒業することが一番重要です。

二つ、 日本語の学習目標は、必ず達成しなければなりません。

三つ、 時間厳守。

四つ、 時間の流れとともに、自分の知識を更新する。

五つ、 毎日、体を鍛錬する。

- 一つ、 毎日、新聞を読むこと。

二つ、 真面目に、勉強する。

三つ、 時間厳守。

四つ、 体を鍛錬しなければならない。

五つ、 約束したことは、必ず完成すること。

- 世界が発展するにつれて、社会の文明とか文化とかは、ますます大切な地位になっています。もちろん、社会にたくさんの必要な規則があると思います。やるべき事があるし、やってはいけない事もあると

思います。しかし、誰でも自分の視点があると思います。そこで、私にとっての五要の内容、即ち、自分のやるべき事は、

第一、 年寄りに丁寧な言葉を使うこと。 第二、 いつも他の人の手伝いをする。 第三、 優しい人になりたい。 第四、 肉の料理を出来るだけ食べない。 最後に、 授業の時絶対に静かにする。 逆に、五不の内容のやってはいけない事は、

第一、 不良青年にはなりません。 第二、 人生で、必ずうそをつかない。 第三、 最後まで希望を捨てない。 第四、 どんな事にもあきらめない。 最後は、弱い人をいじめない。

- 序論 : コンパスと定規がなければ、方形と円を画けない。今の私は子供ではない。だから、日常の行動で、自分のやるべき事は何か、やってはいけない事は何かを認識しなければならない。

本論 :

一つ : PDCA をするべき。

何かをする前に、目標を明確にして、詳しい計画を制定します。後に引けない心で事をします。

その後で、客観的にチェックします。最後、問題があったら、改善します。

事をする前に、計画がないことをしない。

二つ : 何でも真面目な態度でする事。

何かをする時、真面目な態度を持つ事が必要だと思います。こうすれば、ミスが減少出来ます。

ルーズにしないこと。

三つ : 時間意識を持つべき。

時間感覚を持ち、時間管理の徹底である。時間厳守と期限厳守をすること。

約束する時、遅れる事と約束を破らない事。

四つ : 勤勉な態度があるべき。

勤勉は、下手を埋め合わせる。 無精をしないこと。

五つ : 礼儀があるべきのこと。

文明語を使うべき、文明の行為をするべき。 汚い言葉を話さない、けんかをしない。

結論 : 自分の向上や改善のために、以上の五要五不が日々の自分の行動に活用する。

- 序論 : 私たちは、今の大学生として「五要五不」のことを遵守することが重要だ。

本論 : 1) 必要、やるべき項目 :

一) 文明語を使うべき。人に対しては、礼儀をつくす事。

二) 服装を清潔にし、きちんと着る事。優雅に行動する事。

三) 公共の場所では、秩序を遵守する事。

四) 街の中をきれいに保つ事。

五) 公共施設を大事にする事。

2) やるべきでない項目 :

一) きたない言葉や乱暴な言葉を話すな

二) 公共の場所へは、スリッパで入らない事。

三) 大きな声を出さない事。大人数で騒がない。

四) 勝手に路上に痰を吐いたり、物を捨てない事。

五) 公園の植物や古跡の物を損なわない事

結論 : 「五要十不」の標語を読んだ後で、私の今後は、以上の「五要五不」の内容を遵守することである。私は、今から自分にもっと厳しい要求をすることであると感じた。

- 1. 授業の時間に間に合わず。遅刻するな。
 - 2. 授業中、先生の話当真に聴きます。他の人と話すな。
 - 3. 授業中、真面目にメモします。小説を見るな。
 - 4. 先輩、友達に会う時、文明語を使うべき。きたない言葉や乱暴な言葉を話すな。
 - 5. 学校で、秩序を遵守する。大きな声を出さない。
- 本論 : 一つ、毎日、文章を読むこと。 時間を浪費しない。
 二つ、毎日、授業の時間を厳守すること。 遅刻をしません。
 三つ、授業中、知識を真剣に学ぶこと。 教室の秩序を乱しません。
 四つ、体を鍛錬すること。 怠けない。
 五つ、人に対しては、礼儀をつくる事。 きたない言葉や乱暴な言葉を話さない。
- 結論 : この「五要五不」を、私は厳守すること。
- 序論 : 毎日、自分がやるべき事は何か、やってはいけない事は何かを認識しなければならない。
 それから、私の五要五不を書く。
- 本論 : 一つ、物品を節約するべき。
 金持であることであるかどうかにかかわらず、物品を珍重しなければいけない。
 浪費してはいけない。
- 二つ、時間を珍重するべき。
 時間は人生なり。時間が生命であるので、その通りに珍重することだ。時間に流されてはいけない。
- 三つ、読書が好きで、習得を熱愛する事。
 ただ絶えず勉強して絶えず進歩する。しかし、遊んではいけない。精神を浪費する。
- 四つ、他者を尊敬するべき。
 先生を尊敬して、年上の者を尊敬して、子供を愛護する事。行儀が悪いことを求めない。
- 五つ、多くの人と交流して、謙虚に振る舞う。
 色々な長所があっても、もっと多く勉強しなければいけない。怠慢を求めない。
- 結論 : この行動の継続的実施が、確実に自分を成長させることであると確信する。私は頑張る。
- 一つ、文明語を使うべき。人に対しては、礼儀をつくる事。
 きたない言葉や乱暴な言葉を話すな。けんかをするな。
- 二つ、服装を清潔にし、きちんと着る事。優雅に行動する事。
 裸になるな。公共の場所へは、スリッパで入らない事。
- 三つ、公共の場所では、秩序を遵守する事。
 大きな声を出さない事。大人数で、騒がない。交通規則の違反をしない事。
- 四つ、街の中をきれいに保つ事。勝手に路上に痰を吐いたり、物を捨てない事。自転車を勝手に置きっ放しにするな。路上での販売もするな。
- 五つ、公共施設を大事にする事。公園の植物や古跡の物を損なわない事。むやみに物を貼ったり、落書きをしない事。
- 一つ、授業中、しっかり勉強するべきで、大きな声を出さないことだ。
- 二つ、レポートの期限厳守で提出するべきで、遅刻しないこと。

- 三つ、 服装を清潔にし、教室へはスリッパで入らないことだ。
- 四つ、 街の中をきれいに保つ。勝手に路上に痰を吐いたりしないことだ。
- 五つ、 自分の生活を、今から真剣に暮らして、時間を浪費しないことだ。

- 序論 ： 社会の中には、色々な法律が存在している。世の中で、事々が順調に進行出来ることは、これらの法律があるからだ。私たちの生活も同じで、一定の規則があるから、私たちの行為は常識的なものになる。この中で、自分の人生目標が実現出来る。

本論 ： これは、私にとっての五つのやるべき事と五つのしてはいけない事である。

- 一つ、 素直な人として、礼儀や行儀正しく、明るく、皆に付き合うべき事。どんな場合でも、きたない言葉は話すな、乱暴な行為をするな。これは、他人に良い印象を持ってもらうためである。
- 二つ、 謙虚な気持ちを持って、間違いがあったらすぐに直すべき事。 他人を軽視しない事。
- 三つ、 学習は年をとるに従っても終わりにしないで、良い学習の習慣を養う事。質問があったら、すぐに聞く。わからなくても大丈夫とわかった振りにしない事。これは、自分を騙す行為だ。
- 四つ、 何事も PDCA の原則に基づいて実行すべき事。自分の人生目標を確立し、この目標の実現のために、努力する事。目標を立てないで、学習と生活をしない事。
- 五つ、 時間と期限の意識を持つべき事。会議、面会等で遅刻しない事。約束、計画等を破らない事。

結論 ： これは、自分がやるべき事、やるべきでない事を考えて、自己を認識する過程だ。この「自己宣言書」を基準として、自分が向上や自己改善のため、確実に実施して、人生目標を達成する。

- 1) 時間を厳守しなければならない。
- 2) 法律を守らなければならない。
- 3) 毎日、体を鍛錬します。
- 4) 一生懸命に勉強します。
- 5) 自分の目標を完成します。

- 「五要五不」は、人間の行為を制限することである。

- 一つ、 一生懸命に勉強する。そうしないと、大学での計画を完成しないことが出来ません。
 - 二つ、 時間を惜しんで、充分に利用する。時間も浪費しない。
 - 三つ、 時間厳守。遅刻をしない。
 - 四つ、 毎日の計画を完成する。怠けない。
 - 五つ、 流行していることを理解する。伝統の観念を忘れ去られない。
- 今後、厳しく自己管理する。

- 序論 ： 今、私達は大都市で生活しているから、公民道徳や礼儀などが大切なものです。

従って、中国西安市の某記念館が「五要十不」を掲げました。私達にとっても、自分が何かをまずやるか、何かをやらないかを分けることが重要です。

本論 ： 将来、私は日本の物流企業で働きたいので、道徳や礼儀が基本です。それに、会社人として必要な素質も必要だと思います。

1. 必要、やるべき項目：

- 「ありがとう」の気持ちを持ち、言葉にする。
- 原則原理を知り、守り、自分の信念に基づく価値観を持つ。
- ビジョンを持つ。

- 謙虚に自分を眺める
- 深く物事を考える。

2. やるべきでない項目 :

- 品性乏しく、人間性の醜い人にはならない。
- 怠け者と挑戦心のない人にはならない。
- 大小様々な意見、判断の場で、周りの人に依存しない。
- 何かに対する情熱がないようにはしない。
- 自らアクションをとらない評論家タイプの人にはならない。

結論 : これらは、私の目標で、将来は一つ一つを実現したいです。

- 一つ、自分の最大の努力で、日本語を勉強する。 時間を浪費しない。
- 二つ、日常生活で、良い気持を保持する。 悪い気性を表さない事。
- 三つ、学校の中をきれいに保つ事。 痰を吐いたり、物を捨てない事。
- 四つ、毎朝、6.00 に起きる。 遅刻と欠席をしない事。
- 五つ、自分の生活と学習は、PDCA を実施する。 自分がする事が明確でないようにはしない。

- 所謂、「五要十不」は、人間の振る舞いに制限を与えるものとして、捉えることができます。

- 1) 一つ、勉強に対しては、厳しく縛るべきである。計画通りに進むと良いのである。
 - 二つ、肝心な仕事だけに力を絞り、骨身を惜しまなく、頑張って行くこと。
 - 三つ、余暇は活用し、なるべく、もっと有意義な仕事をすべきである。
 - 四つ、怠らなく、毎日の計画を貫くこと。
 - 五つ、各種手段の応用で、自分の視野を広めること。
- 2) 一つ、だらしない態度は不要である。
 - 二つ、価値の大事さを念頭に入れずに、勝手にやたら力を払う事は駄目。
 - 三つ、余暇の時間に、オペラを見るように、情感や動作の無駄使いは駄目。
 - 四つ、やるべき事を、後回しにしないこと。
 - 五つ、自分の世界にとじこもって、自分だけ楽しむことは決してしない。

3. コメント、アドバイス :

- いつも話している様に、各人の考えは異なる。特に、この課題は、「私の ---」であるので、各人が、自分でこれから実施する「私の五要五不」を書いていく。これで良いのである。自分の --- である。
- 書かれた内容は、現在の自分の状況を認識して、今後やるべき事とやるべきでない事を考えて書いたと思うが、一般的な事を書いたレポートもあった。
- 大事な事は、一般的な事や将来すべき事を書くのではなく、今、現在の日々の大学生生活での五要五不である。将来、会社に入ったら、その時の五要五不を考える事である。今が重要である。
- アドバイスとして、五要五不は、過ごす場所や形態によって異なる。即ち、現在の状況では、大学での学習についてと、生活や自宅での過ごし方で、内容は異なる。今回のレポートの内容は、この二つを含んだものであるが、それで良いが、この二つに対しても「五要五不」を考えてほしい。必ず、違った「五要五不」があると思う。

- 多くの学生が書いてあったが、遅刻せずに出席するとあった。これを遵守してもらいたい。特に、これを書いた学生は、遵守してほしいものである。
- 今回の「私の五要五不」は、「自分の今後の行動の自己宣言書」である。これを実行すること。
- 何人かの学生がレポートに書いていたのが、「PDCAの回転」の実施である。その通り、「この五要五不」は、PDCAのPである。これを実施してこそ、意味がある。全員、確実に日々実行のこと。
- ある学生が書いていた「この行動の継続的实施が、確実に自分を成長させることであると確信する」が、重要な意味を持つ。
この課題の目的は、正にこれである。自分で考えて、自分が決めた事の実施である。
- 毎回書いているが、他人の書いた文章、考えを参考にして下さい。この資料の目的は、ここにある。

自分で書いた「私の五要五不」の項目を、日々の生活で確実に実施する事が重要

* 下記に、自分の考えた「私の五要五不」を書く : 「五要十不」は、8頁目参照。

私の五要五不

五要十不

中国西安市の某記念館に掲げてあった「五要十不」を紹介する。
これは、五つのやるべき事と、十のしてはいけない事である。

- * 一つ : 文明語を使うべき。 人に対しては、礼儀をつくる事。
きたない言葉や乱暴な言葉を話すな。けんかをするな。
- * 二つ : 服装を清潔にし、きちんと着る事。優雅に行動する事。
裸になるな。公共の場所へは、スリッパで入らない事。
- * 三つ : 公共の場所では、秩序を遵守する事
大きな声を出さない事、大人数で騒がない。
交通規則の違反をしない事。
- * 四つ : 街の中をきれいに保つ事
勝手に路上に痰を吐いたり、物を捨てない事。
自転車を勝手に置き放しにするな。 路上での販売もするな。
- * 五つ : 公共施設を大事にする事
公園の植物や古跡の物を損なわない事。
むやみに物を貼ったり、落書きをしない事。
ベンチに土足であがらない事。

文明用語とは、「どうぞ、こんにちは、ありがとう、すみません、さようなら」である。